



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月7日  
東・名

上場会社名 株式会社安江工務店 上場取引所  
コード番号 1439 URL <https://www.yasue.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 賢治  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 印田 昭彦 (TEL) 052-223-1100  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	5,348	0.5	63	△70.1	65	△69.4	21	△82.6
2023年12月期第3四半期	5,323	10.2	213	467.8	212	369.2	124	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 22百万円(△82.3%) 2023年12月期第3四半期 125百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	16.37	15.17
2023年12月期第3四半期	94.10	88.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,878	1,811	35.4
2023年12月期	4,356	1,830	40.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,726百万円 2023年12月期 1,750百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年11月7日付で公表した「株式会社サーラコーポレーションによる当社株券等に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」及び「2024年12月期期末配当予想の修正(無配)及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」の通り、当社の普通株式等に対する公開買付けが成立することを条件に、2024年12月期の配当予想を修正し、2024年12月期の期末配当を行わないことを決議いたしました。

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,730	4.5	340	1.1	336	0.5	205	0.3	155.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) ガーデン株式会社、除外 1社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期3Q	1,351,560株	2023年12月期	1,351,560株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	23,356株	2023年12月期	28,631株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期3Q	1,323,446株	2023年12月期3Q	1,319,980株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格等のコスト上昇を販売価格へ転嫁する動きが広がるとともに、賃上げなどによる雇用や所得環境の改善から個人消費の持ち直し傾向がみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、円安の進行や資源・エネルギー価格の高止まりによる継続的な物価上昇圧力、日本銀行による金融政策の見直し等による消費マインドへの影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、子育てエコホーム支援事業等の政府による後押しがあるものの、資源価格の高騰を受けた木材・住宅設備機器等の値上げによる消費マインドの低下、設計職・施工監理職など専門職技術者の人材不足など、依然として厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社グループは「すべてのお客様に安らぐ『住まい』を提供し、一生涯のおつきあいをする」ことをミッションに掲げ、お客様にとって価値あるサービスが提供できるよう、住宅に関するニーズにワンストップで応え、すべての相談に乗ることができる利便性の高い体制の構築に努めてまいりました。

また、長期ビジョン「Vision2030」において当社グループの存在意義として掲げた「安らぐ『暮らし』を創造し、心豊かな社会を実現する」に向けて、2024年度を初年度とする第2次中期経営計画の基本方針「成長戦略」「質の追求と高効率戦略」「人的資本経営」を推進し、当社グループ全体の収益構造を強化するとともにさらなる企業価値の向上に取り組んでおります。本年7月には、新たなM&Aとして京都市で新築注文住宅の設計・施工やリノベーション、不動産事業を展開するガーデン株式会社を子会社化し、関西地区でのドミナントエリアを拡げるとともに、同社の強みである京都ならではの狭小地や寒暖差のある気候風土に合わせた住宅を設計する高い技術力をグループ内で共有するなど、グループ内のシナジーを最大限に発揮して、グループ全体での競争力強化とシェア拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、不動産流通事業において反響がやや低調となったものの、主力の住宅リフォーム事業においてイベント集客や引合いが堅調に推移したことから、売上高は前年同期と比べ増収となりました。一方で、利益面につきましては、出店に伴う人件費や広告宣伝費の増加に加えて人材確保・定着に向けて賃上げを行ったこと、また子会社取得に伴う取得関連費用が発生したこと等により減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,348百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は63百万円（同70.1%減）、経常利益は65百万円（同69.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21百万円（同82.6%減）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

#### （住宅リフォーム事業）

住宅リフォーム事業におきましては、建築士などの資格を有するデザイナーによる機能性・デザイン性の高いリフォームを提供するとともに、より高度な専門性と高い付加価値を提供できるよう、外装やエクステリア、オフィスリフォームに特化した専門部署を設置してスピード感のある提案を行うなど、安定的な営業活動を展開してまいりました。加えて、当社リフォーム店舗に併設している子会社のインテリア販売拠点を活用し、住宅リフォームに家具やカーテンをセットでコーディネートするなど、グループ内のシナジーを活かしてお客様満足度の向上に努めてまいりました。また、当社の強みであるオリジナル建材の「無添加厚塗りしっくい®」に加え、本年1月に発売を開始したオリジナルキッチン「kostad®（コスタッド）」を積極的に提案するなど、他社との差別化にも注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、リフォーム相談会、感謝祭等のイベント集客が堅調に推移したことから、売上高は4,481百万円（前年同期比2.4%増）となりました。しかしながら、本年に開設した「豊川店」「藤が丘店」の人員増加による人件費の増加や、積極的な広告宣伝活動等により販売費及び一般管理費が増加したことから、セグメント利益は135百万円（同33.3%減）となりました。

## (新築住宅事業)

新築住宅事業におきましては、オリジナル建材である「無添加厚塗りしっくい<sup>®</sup>」や、無垢の木材、薩摩中霧島壁などの自然素材を活かし、デザイン性や機能性を高めた4つの注文住宅ラインナップを揃えており、お客様のニーズに合わせた提案を行うとともに他社との差別化に注力してまいりました。また、マーケティング支援ツールを導入し、お客様ごとの興味や関心に合わせた情報提供やお客様のニーズに応じた最適な提案を行うなど、営業活動の効率化にも取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、物件の引渡しが予定通り進んだものの、前期からの受注低調が継続しており、売上高は297百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント損失は34百万円（前年同期はセグメント損失55百万円）となりました。

## (不動産流通事業)

不動産流通事業におきましては、地域密着型の強みを活かして良質な小規模分譲地の仕入れに注力し、自社での新築注文住宅や新築分譲住宅用地として活用するなど、事業間のシナジーを発揮してまいりました。また、買取再販物件に当社グループの強みであるリノベーションやデザインリフォームをコーディネートしてお客様に提案するなど、資産価値の創造・魅力ある住まいづくりを積極的に推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、不動産価格の上昇に伴う消費マインド低下などの不動産市況の悪化により、新築分譲住宅販売や不動産の買取再販等がやや低調であったことから、売上高は569百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期はセグメント利益65百万円）となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,316百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。これは主に売上債権が25百万円、販売用不動産が29百万円減少したものの、現金預金が216百万円、未成工事支出金等が103百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円増加いたしました。これは建物・構築物が139百万円、のれんが37百万円、繰延税金資産が14百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ521百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円増加いたしました。これは主に未払金が58百万円、未払法人税等が90百万円減少したものの、仕入債務が90百万円、未成工事受入金が387百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は795百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が187百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ540百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加が21百万円、自己株式の減少5百万円、新株予約権の増加5百万円があったものの、配当金の支払いによる利益剰余金の減少52百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月9日に「2023年12月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,235,435	1,452,108
完成工事未収入金	239,808	207,686
売掛金	31,189	38,246
未成工事支出金等	259,481	363,447
販売用不動産	1,215,030	1,185,040
材料貯蔵品	12,954	12,445
その他	31,619	59,097
貸倒引当金	△1,587	△1,484
流動資産合計	3,023,931	3,316,588
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	352,978	492,414
土地	637,544	645,165
建設仮勘定	737	—
その他(純額)	46,343	55,990
有形固定資産合計	1,037,604	1,193,569
無形固定資産		
のれん	106,748	144,208
ソフトウェア	11,648	14,429
その他	2,067	4,808
無形固定資産合計	120,464	163,446
投資その他の資産		
投資有価証券	6,260	7,137
繰延税金資産	84,485	98,985
その他	83,572	98,521
投資その他の資産合計	174,317	204,645
固定資産合計	1,332,386	1,561,661
資産合計	4,356,318	4,878,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	411,740	501,332
買掛金	19,994	21,333
短期借入金	125,000	121,252
1年内返済予定の長期借入金	439,260	445,204
未払金	144,833	86,461
未払法人税等	95,652	4,803
未成工事受入金	455,818	843,810
賞与引当金	59,789	101,956
完成工事補償引当金	35,819	40,537
その他	137,577	103,706
流動負債合計	1,925,486	2,270,397
固定負債		
長期借入金	573,535	761,380
その他	27,200	34,533
固定負債合計	600,735	795,913
負債合計	2,526,222	3,066,311
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	263,350	263,350
資本剰余金	252,680	254,298
利益剰余金	1,261,183	1,229,926
自己株式	△28,356	△23,139
株主資本合計	1,748,858	1,724,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,155	1,765
その他の包括利益累計額合計	1,155	1,765
新株予約権	80,081	85,736
純資産合計	1,830,095	1,811,938
負債純資産合計	4,356,318	4,878,249

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	5,323,114	5,348,432
売上原価	3,563,705	3,553,169
売上総利益	1,759,408	1,795,263
販売費及び一般管理費	1,545,645	1,731,361
営業利益	213,763	63,901
営業外収益		
受取利息及び配当金	109	230
補助金収入	588	4,728
売電収入	1,662	1,379
その他	2,730	2,353
営業外収益合計	5,090	8,691
営業外費用		
支払利息	3,284	5,078
売電費用	768	696
支払手数料	423	21
その他	1,536	1,623
営業外費用合計	6,012	7,419
経常利益	212,841	65,173
特別利益		
固定資産売却益	27	966
新株予約権戻入益	14	—
特別利益合計	41	966
特別損失		
固定資産除却損	1,039	—
特別損失合計	1,039	—
税金等調整前四半期純利益	211,843	66,140
法人税、住民税及び事業税	110,792	49,007
法人税等調整額	△23,163	△4,527
法人税等合計	87,629	44,480
四半期純利益	124,214	21,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,214	21,660



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	124,214	21,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,346	609
その他の包括利益合計	1,346	609
四半期包括利益	125,560	22,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,560	22,270

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	4,375,525	294,189	619,851	5,289,566	—	5,289,566
その他の収益	—	—	33,548	33,548	—	33,548
外部顧客への売上高	4,375,525	294,189	653,399	5,323,114	—	5,323,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	77	—	77	△77	—
計	4,375,525	294,267	653,399	5,323,192	△77	5,323,114
セグメント利益又は 損失(△)	203,332	△55,242	65,673	213,763	—	213,763

(注) 1. 売上高の調整額△77千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	4,481,149	297,579	535,805	5,314,534	—	5,314,534
その他の収益	—	—	33,898	33,898	—	33,898
外部顧客への売上高	4,481,149	297,579	569,703	5,348,432	—	5,348,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	797	94	—	891	△891	—
計	4,481,946	297,673	569,703	5,349,323	△891	5,348,432
セグメント利益又は 損失(△)	135,559	△34,387	△10,270	90,901	△27,000	63,901

(注) 1. 売上高の調整額△891千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△27,000千円は、ガーデン株式会社の取得関連費用であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	39,074千円	46,463千円
のれんの償却額	37,543千円	40,320千円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において、ガーデン株式会社(以下、「ガーデン社」という。)の全株式を取得することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結、2024年7月1日付で当該株式を取得し子会社化いたしました。

#### 1. 企業結合の概要

(1)被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：ガーデン株式会社

事業の内容：新築注文住宅の設計及び施工、リノベーション、店舗設計及び施工、不動産事業

(2)企業結合を行った主な理由

ガーデン社は、2012年の設立以来、「家づくりを通じて たくさんのHappyをつくろう」を経営理念として、新築注文住宅の設計・施工、リノベーションを手掛けるとともに、不動産事業にも注力し、お客様のご要望にワンストップで応える地域密着型の事業展開をしております。また、同社は京都ならではの狭小地や寒暖差のある気候風土に合わせた住宅を設計する高い技術力を持っており、堅実な成長を続けております。

当社グループは、西日本エリアを中心にM&Aを推進しており、当社及びグループ会社3社で構成しております。このたびのグループ化によって、現在展開している兵庫県5店舗、大阪府2店舗との関西圏でのシェア拡大を進めるとともに、ガーデン社の持つ強みと、当社グループの持つ集客・顧客維持ノウハウを融合してシナジーを発揮し、更なる競争力強化が見込まれると判断したためであります。

(3)企業結合日

2024年7月1日(株式取得日)

(4)企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5)結合後企業の名称

変更はありません。

(6)取得した議決権比率

100%

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

#### 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年7月1日から2024年9月30日まで

#### 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金預金	110,000千円
取得原価		110,000千円

#### 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

外部のアドバイザー等に対する報酬・手数料等 27,000千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん金額

77,780千円

## (2) 発生原因

取得原価が被取得企業の純資産の当社の持分相当額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

## (3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額ならびにその主な内訳

流動資産	210,825千円
固定資産	185,159
<hr/>	
資産合計	395,985
流動負債	165,909千円
固定負債	197,856
<hr/>	
負債合計	363,765